

山鹿温泉リハビリテーション病院が 担う役割について

平成31年 3月 7日
医療法人社団木星会 山鹿温泉リハビリテーション病院

1 現状と課題

基本理念

『自立した心と体の回復を目指して』

基本方針

- ・ 私たちは、患者さまの一日も早い社会復帰を願って、心のこもった「リハビリテーション医療」を行います。

1 現状と課題

【 現況 】

病床数 101床

- ・ 回復期リハビリテーション病棟入院料 3 ... 35床
- ・ 療養病棟入院基本料 2 ... 66床

標榜診療科

- ・ リハビリテーション科、内科、放射線科、神経内科
消化器外科、消化器内科

平均在院日数

回復期リハビリテーション病棟 ... 64.7日
療養病棟 ... 153.8日
全体 ... 108.4日

1 現状と課題

【 現況 】

指定を受けている公費負担医療制度

- 生活保護
- 原爆被爆(一般疾病医療費)
- 特定疾患治療費等
- 児童福祉(小児慢性特定疾病医療支援)
- 難病患者特定医療
- 労働災害

1 現状と課題

【職員数】 (平成30年1月1日現在)

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計
医 師	5		5
薬 剤 師	1		1
放 射 線 技 師	1		1
管 理 栄 養 士	1		1
看 護 師	21	9	30
准 看 護 師	9		9
介 護 職	22	7	29
理 学 療 法 士	14	1	15
作 業 療 法 士	16		16
言 語 聴 覚 士	3		3
臨 床 心 理 士	3		3
事 務 ・ そ の 他	35	4	39
合 計	131	21	152

1 現状と課題

【特徴】

- ① リハビリテーション専門医の指導のもと、心のこもった質の高いリハビリテーションの提供に努めています。

リハビリ専門医師の指導のもと、患者さまの一日も早い社会復帰を願い、体だけの回復ではなく、再び笑顔を取り戻し、家庭や地域等での生活の場を取り戻して頂くことを、患者様のパートナーとして目指しています。

1 現状と課題

【特徴】

② チームワーク無しに、リハビリテーションの提供はできません。

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、介護士、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士等、多くのスペシャリストが関わる、多職種連携によるリハビリテーション体制により、その成果を求めることができます。

1 現状と課題

【特徴】

③ 地域におけるリハビリテーション支援

当院では、訪問診療、「湯の里」通所リハビリテーションセンター、訪問リハビリテーション、鹿本地域リハビリテーション広域支援センターを併設しています。

これらを通じて、地域に密着したリハビリテーションを提供し、地域包括ケアシステムの一翼を担います。

1 現状と課題

【連携】

当院は、他医療機関と連携し、急性期からの紹介頂いた患者様を、回復期・慢性期から在宅へ向け治療を行います。

入院加療終了後は、地域の主治医の先生へ逆紹介を行い、主治医の先生との連携した治療を継続します。

1 現状と課題

【課題】

★ 医療従事者の確保及び働きやすい職場環境

人手不足があらゆる分野で起きており、医療従事者の確保も困難になってきています。各種広告媒体はもちろんのこと、年齢に関わりなく60歳以上の方の積極採用等医療従事者の確保に務めます。

また、働きやすい職場環境づくりにも積極的に努めてまいります。

2 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】

当院は、リハビリテーション専門病院として、また、在宅医療を担う医療機関として、回復期、慢性期から積極的にリハビリテーション医療の充実につとめ、退院後の訪問リハビリテーションや通所リハビリテーション等、在宅に向けた治療を行い、患者様の一日も早い社会復帰のための支援を行うと同時に、地域の医療機関と連携し、一日でも長く健やかな生活期を継続するための支援を行う方針です。また、外来機能よりも入院機能を優先する方針を継続する予定です。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2018年(平成30年)	2025年
高度急性期	0	0
急性期	0	0
回復期	35	35
慢性期	66	66
その他	0	0
合計	101	101

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その2】

回復期、慢性期に関しては、現状維持と考えております。

また、医療療養病棟についても現状維持を大前提としておりますが、人口減少、他の医療機関との協力体制、地域・又は医療環境情勢により在宅強化のため、一部を介護医療院とする検討も必要となりうる。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【②診療科の見直し】

	現時点 (2019年1月時点)	2025年	理由・方策
維持	リハビリテーション科 内科、放射線科、神経 内科、消化器外科、消化 器内科	リハビリテーション科 内科、放射線科、神経 内科、消化器外科、消化 器内科	
新設			
廃止			
変更・統合			

3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点(2019年 1月時点)	2025年
①病床稼働率	87.0%	95.0%
②紹介率	69.0%	75.0%
③逆紹介率	79.6%	80.0%

* 病床稼働率、紹介率、逆紹介率は、平成30年2月～平成31年1月の実績。

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

【取組みと課題】

地域医療における機能分担として、回復期を中心としたリハビリテーション分野について積極的に取り組んでいく予定です。急性期病院を始めとする、地域医療機関からご紹介を頂き、地域医療機関へ逆紹介を行う、という現在の形をより充実したものに推進していきます。

在宅に向け多職種連携により、積極的にリハビリテーションの提供に努めます。そのために、職員についても、働きやすい職場環境を整備し、患者様の療養環境改善のために、高年齢者も含め採用活動にも、力を注いでまいります。

また、各種研修、学会発表等、職員の質の向上への支援を行います。

4 その他特記事項

1. 一般社団法人日本専門医機構 熊本地域リハビリテーション科専門研修プログラムにおいて、専門研修連携施設として、リハビリテーション科専門医育成に努める予定です。
2. 熊本県災害リハビリテーション推進協議会協力医療機関として、災害支援に取り組んでいます。